

科目名	DTP実習Ⅱ			担当講師	田口 広司		
講師実務経験	広告代理店のデザイナーを経て独立後、フリーランスデザイナーとして、グラフィックやWEB、映像など様々な媒体の広告制作を行っています。						
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習	
期 間	3期・4期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	Illustratorを使った作品作りを修得する。 Photoshop の基本操作方法を修得する。						
4期	Photoshopを使った作品作りを修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月17日	前期のおさらい					
2	10月24日	Illustratorで名刺を作る1(制作するデザインを考える)					
3	10月31日	Illustratorで名刺を作る2(考えたデザインを実際に作ってみる)					
4	11月7日	Illustratorで名刺を作る3(発表)					
5	11月14日	Photoshopの基礎知識(ツールの説明、色調補正)・色彩の知識					
6	11月21日	Photoshopの基礎知識(マスク、写真加工)					
7	11月28日	Photoshopを使った合成写真の作成1					
8	12月5日	Photoshopを使った合成写真の作成2					
9	12月12日	Photoshopを使った合成写真の作成3					
10	1月16日	illustrator、Photoshopを使用してCDジャケットを作る1					
11	1月23日	illustrator、Photoshopを使用してCDジャケットを作る2					
12	1月30日	illustrator、Photoshopを使用してCDジャケットを作る3					
13	2月6日	作品提出					
14	2月13日	作品発表					
評価方法	C評価						
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	各回授業にてプリント配布						
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	1年A組、B組		授業形態 講義
期 間	3期・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
3期	企業情報を収集し、就職計画を立てる。応募書類を理解し、受験への備えを修得する。				
4期	エントリーに向けた一連の流れを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月17日	就職用写真の撮影準備について/自己PR作成のポイント			
2	10月24日	求人検索方法、就職支援サイト利用方法について/志望動機作成のポイント			
3	10月31日	応募条件について考える/志望動機、自己PR作成①			
4	11月7日	志望動機、自己PR作成②			
5	11月14日	履歴書作成練習			
6	11月21日	エントリーシートの質問項目と解答例			
7	11月28日	応募書類について			
8	12月5日	進路について考える			
9	12月12日	就職希望調査書配布説明			
10	1月16日	履歴書作成練習			
11	1月23日	筆記試験対策(一般常識)/エントリーシート作成練習			
12	1月30日	筆記試験対策(SPI)/エントリーシート作成練習			
13	2月6日	面接対策			
14	2月13日	春休み中に出来る事/3月の求人公開に向けて			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	14時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	國本 昌秀	
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	1 学年	対象専攻	1年A,B組		授業形態 講義
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
3期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。				
4期	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月17日	授業ガイダンス 習得目標について			
2	10月24日	岸田政権就任1年			
3	10月31日	直近のニュースについて			
4	11月7日	直近のニュースについて			
5	11月14日	直近のニュースについて			
6	11月21日	直近のニュースについて			
7	11月28日	直近のニュースについて			
8	12月5日	2022年ニュース振り返り①			
9	12月12日	2022年ニュース振り返り②			
10	1月16日	2023年はどんな年			
11	1月23日	直近のニュースについて			
12	1月30日	直近のニュースについて			
13	2月6日	直近のニュースについて			
14	2月13日	講義振り返り			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業でプリント配布				
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習 I			担当講師	佐藤 直子
講師実務経験	建築士・インテリアコーディネーター				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期 間	3・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
3期	PCとソフトの基本操作を修得する				
4期	CADの操作性と図面についての基礎知識を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	授業ガイダンス、基本操作について			
	10月25日	授業ガイダンス、基本操作について			
2	11月1日	ショートカットについて 課題(練習)、縮尺について		課題(定規製作)	
	11月8日	縮尺について 課題(定規製作)			
3	11月15日	課題(原寸図製作)			
	11月22日	課題(原寸図製作)			
4	11月29日	レイヤーについて 課題(ブラインド製作)			
	12月6日	レイヤーについて 課題(ブラインド製作)			
5	12月13日	課題(ブラインド製作) 製作図について(平面図.正面図.側面図)			
	1月17日	課題(ブラインド製作) 製作図について(平面図.正面図.側面図)			
6	1月24日	3D機能について 課題(テーブル.)、課題(.椅子)			
	1月31日	3D機能について 課題(テーブル.)、課題(.椅子)			
7	2月7日	3D機能について 課題(カラーBOX)、シンボル登録について			
	2月14日	3D機能について 課題(カラーBOX)、シンボル登録について			
-	-				
評価方法	【B】 定期試験(50%)＋実技修得度(50%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	照明基礎実習Ⅱ		担当講師	向出 敦子	
講師実務経験	照明会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態 実習
期 間	3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
3期	基本的な前期の復習と操作卓の取り扱い方法を修得する。				
4期	基本的な操作卓の取り扱い方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	授業ガイダンス。使用する機材等のメンテナンス方法を修得する。			
	10月25日				
2	11月1日	前期の復習			
	11月8日				
3	11月15日	照明卓、信号の流れについて			
	11月22日				
4	11月29日	音と照明のリンクについて			
	12月6日				
5	12月13日	演出照明について			
	1月17日				
6	1月24日	オペレートについて			
	1月31日				
7	2月7日	試験対策			
	2月14日				
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	パソコン実習 I			担当講師	熊谷めぐみ	
講師実務経験	広告会社勤務・現フリーランスライター					
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	演習	
期 間	3・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標					
3期	パソコンの基本操作、Officeの基本の習得、検定に向けての知識・操作を修得する。					
4期	パソコンの基本・応用操作、Officeの基本・応用を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月18日	授業ガイダンス、前期の復習				
	10月25日	授業ガイダンス、前期の復習				
2	11月1日	Word検定対策① Excel: よく使用する関数① PowerPoint: スライドの作成方法を習得①				
	11月8日	Word検定対策① Excel: よく使用する関数① PowerPoint: スライドの作成方法を習得①				
3	11月15日	Word検定対策② Excel: よく使用する関数② PowerPoint: スライドの作成方法を習得②				
	11月22日	Word検定対策② Excel: よく使用する関数② PowerPoint: スライドの作成方法を習得②				
4	11月29日	Word検定対策③ Excel: 論理関数① PowerPoint: スライドの作成方法を習得③				
	12月6日	Word検定対策③ Excel: 論理関数① PowerPoint: スライドの作成方法を習得③				
5	12月13日	Word文書作成・応用① Excel: 実践演習① PowerPoint: 実践演習①				
	1月17日	Word文書作成・応用① Excel: 実践演習① PowerPoint: 実践演習①				
6	1月24日	Word文書作成・応用② Excel: 実践演習② PowerPoint: 実践演習②				
	1月31日	Word文書作成・応用② Excel: 実践演習② PowerPoint: 実践演習②				
7	2月7日	Word文書作成・応用③ Excel: 実践演習③ PowerPoint: 実践演習③				
	2月14日	Word文書作成・応用③ Excel: 実践演習③ PowerPoint: 実践演習③				
	-					
評価方法	【C】実技修得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト						
注意事項	21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	ビジネスマナー I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	講義
期 間	3・4期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
3期	「サービス接客実務検定3級」の合格が出来る知識を修得する。				
4期	サービス接客実務について理解を持ち、一般的なサービスを行うのに必要な知識、技能を身に付け、コンサート・イベントの制作スタッフや社会人に必要なマナーを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	サービス接客検定について			
2	10月19日	サービススタッフの資質			
3	10月26日	サービス知識			
4	11月2日	一般知識			
5	11月9日	対人関係			
6	11月16日	敬語表現			
7	11月30日	接客用語			
8	12月14日	実務技能			
9	1月18日	社交業務			
10	1月25日	過去問題			
11	2月1日	過去問題			
12	2月8日	過去問題			
13	2月15日	検定振り返り			
14	-				
15	-				
評価方法	【A】 定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	イベント制作Ⅱ		担当講師	千葉彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	演習
期間	3・4期	総授業回数	25 回	1回あたりの授業時間	180/90 分
期	修 得 目 標				
3期	『K-1ライブ』の実施を通して、イベント企画・制作・運営の基礎を修得する。				
4期	『K-1ライブ』の反省を踏まえ、『新入生歓迎ライブ』・『定期公演』の実施に向けてイベント企画・制作・運営の応用を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1・2	10月12日 10月14日	オリエンテーション ・ イベント制作の仕組みについて ・ 『K-1ライブ』実施の概要			
3・4	10月19日 10月21日	『K-1ライブ』実施目的、実施内容、スタッフの役割について ・ 企画書の作成			
5・6	10月29日 10月28日	『K-1ライブ』役割分担、運営スケジュールについて			
7・8	11月2日 11月4日	『K-1ライブ』企画会議			
9・10	11月9日 11月11日	『K-1ライブ』企画まとめ			
11・12	11月16日 11月25日	『K-1ライブ』資料作成開始			
13・14	12月2日 12月14日	『K-1ライブ』資料作成 / 進捗状況報告 / 問題点抽出 / 打合せ			
15・16	12月16日 1月18日	『K-1ライブ』実施に向けた最終打合せ			
17・18	1月20日 1月25日	『K-1ライブ』反省会 / 資料まとめ			
19・20	1月27日 2月1日	『K-1ライブ』報告書作成			
21・22	2月3日 2月8日	イベントスケジュールの組み立て方について / 各セクションとの関わり方について			
23・24	2月10日 2月15日	『新入生歓迎ライブ』『定期公演』実施概要説明 実施計画(役割分担・運営スケジュール計画)			
25	2月17日 -	定期試験対策			
	-				
	-				
評価方法	【B】 定期試験点数(30%)＋実技修得度(70%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	制作実習 I		担当講師	千葉彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期間	3・4期	総授業回数	7(6) 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
3期	現場における制作の役割及び進行方法を実践をもって修得する。				
4期	ライブ実践を通して各セクションの仕事内容を理解し、制作進行の一連の流れを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	①班	授業ガイダンス 現場における各セクションの仕事内容及び流れについて / Kissホールの使用方法について説明		
	10月20日	②班	授業ガイダンス 現場における各セクションの仕事内容及び流れについて / Kissホールの使用方法について説明		
2	10月27日	①班	ライブ実習-①		
	11月10日	②班	ライブ実習-①		
3	11月17日	①班	ライブ実習-②		
	11月24日	②班	ライブ実習-①の振り返り ・ ライブ実習における役割について説明		
4	12月1日	①班	ライブ実習-①、②の振り返り ・ ライブ実習における役割について説明		
	12月15日	②班	『K-1ライブ』実施に向けた準備 ・ライブ実習-③に向けた準備		
5	1月19日	①班	『K-1ライブ』の反省・資料整理 ・ライブ実習-③に向けたおさらい		
	1月26日	②班	ライブ実習-②		
6	2月2日	①班	ライブ実習-③		
	2月9日	②班	ライブ実習-③		
7	2月16日	①班	定期試験対策		
	-				
	-				
評価方法	【B】 定期試験点数(30%)＋実技修得度(70%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42(36)時間中15(13)時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	体カトレーニング I		担当講師	MASA先生	
講師実務経験	ダンススタジオ勤務・ダンスインストラクター・イベント主催、企画、運営				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期 間	3・4期	総授業回数	7(6) 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
3期	チャレンジ精神の修得。				
4期	強い身体と精神の修得。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	授業ガイダンス・体カトレーニング			
	10月20日	授業ガイダンス・体カトレーニング			
2	10月27日	体カトレーニング			
	11月10日	体カトレーニング			
3	11月17日	体カトレーニング			
	11月24日	体カトレーニング			
4	12月1日	体カトレーニング			
	12月15日	体カトレーニング			
5	1月19日	体カトレーニング			
	1月26日	体カトレーニング			
6	2月2日	実技テスト・まとめ			
	2月9日	実技テスト・まとめ			
7	2月16日	まとめ			
	-				
	-				
評価方法	実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	プランニングⅡ			担当講師	横山 聡史
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	演習
期 間	5・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	企画工程を再確認するとともに、実施案の意味と必要書類についての知識を修得する。				
6期	情報と発想によって、実施案各書類を自分たちで制作する工程を学び修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	授業概要の説明。 企画案(企画書)と実施案(各書類)の違いについて学ぶ。			
2	10月21日	企画テーマに関するオリエンテーション。 メンバーが情報を持ち寄り、円滑なコミュニケーションで取り組む姿勢を学ぶ。			
3	10月28日	実施案制作① マスタースケジュールの重要性と作り方を学ぶ。			
4	11月4日	実施案制作② 運営組織図の重要用と作り方を学ぶ。			
5	11月11日	実施案制作③ 当日前後の進行スケジュールの重要性と作り方を学ぶ。			
6	11月18日	実施案制作④ 備品リストの重要性と作り方を学ぶ。			
7	11月25日	実施案制作⑤ MC台本の重要性と作り方、正しい日本語の必要性を学ぶ。			
8	12月2日	実施案制作⑥ 短いMC台本を制作してみる。			
9	12月16日	実施案制作⑦ イベント見積りの重要性と作り方、利益率の考え方について学ぶ。			
10	1月20日	実施案制作⑧ イベント内容、現場条件などで異なる必要書類について学ぶ。			
11	1月27日	実施案制作⑨ 様々な現場における判断や気遣いについて学ぶ。			
12	2月3日	実施案制作⑩ 実施報告書の必要性と作り方を学ぶ。			
13	2月10日	プレゼンテーション。 相手に届くプレゼンテーション方法と質疑に対する応答を学ぶ。			
14	2月17日	実施案の総まとめ。 企画から実施案、実施、報告書に至る一連の流れについて学ぶ。			
15	-				
評価方法	【A】 定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	アーティストプロモーションⅡ		担当講師	ハイジ	
講師実務経験	メジャーレーベルプロモーター、ラジオDJ、イベントMC、ナレーション等。				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	講義
期 間	3・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
1期	音楽プロモーター業務の応用を模擬実践により修得する。				
2期	アーティストのプロモーション方法を模擬実践により修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	授業ガイダンス			
2	10月21日	アイテムの情報を引き出し、魅力を見つける①			
3	10月28日	アイテムの情報を引き出し、魅力を見つける②			
4	11月4日	プロモーション資料模擬制作①			
5	11月11日	プロモーション資料模擬制作②			
6	11月18日	プロモーション実践 楽曲プロモーション①			
7	11月25日	プロモーション実践 楽曲プロモーション②			
8	12月2日	プロモーション実践 アーティストプロモーション①			
9	12月16日	プロモーション実践 アーティストプロモーション②			
10	1月20日	プロモーション実践 対面プロモーション			
11	1月27日	プロモーション実践 プロモーション会議①			
12	2月3日	プロモーション実践 プロモーション会議②			
13	2月10日	プロモーション実践 キャンペーンプロモーション			
14	2月17日	試験対策			
15	-				
評価方法	【A】 定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				